

第6学年 国語科学習指導案

1 単元名 目的や条件に応じて計画的に話し合おう ～みんなで楽しく過ごすために～

2 単元について

- ・ 本単元では、目的や条件に応じて計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする力の育成を目指す。「下学年との交流活動の内容をグループごとに話し合う」活動を設定し、考えとその理由、根拠を伝え合う「考えを広げる話し合い」、互いの考えの共通点や相違点、問題点や改善点を明確にしてグループの「考えをまとめる話し合い」を行う。
- ・ 本学級の児童は、グループの話し合いで自分の考えを進んで述べる児童が多い。一方、目的に沿って話し合いを深める力が十分でない。そこで、目的や条件と照らし合わせ、話し手の言葉を言い換えたり、代替案を提案したりしながら話し合う活動を取り入れる。
- ・ 本時では、クラウド上でグループシートを共有し、それぞれの考えを思考ツールに位置付けるなどすることで、目的や条件を明確にして話し合いを進められるようにする。

3 単元の目標

- ・ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 〔知識及び技能〕(2)イ
- ・ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア
- ・ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ
- ・ 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを 伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

4 単元で取り上げる言語活動

それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う。(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)オ)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((2)イ)	①目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ②互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	①言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。

6 全体計画 (全6時間)

次	時	学習内容
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項を確かめ、課題を設定する。 <li style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目的や条件に応じて、計画的に話し合おう 議題：「下学年との交流活動でどのような活動をするよいか」 ・ グループごとに活動の目的と条件を決め、学習計画と話し合いの進行計画を立てる。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「伝えにくいことを伝える」を読んで、話し合いがうまくいかないときにきどう対応したり折り合いをつけたりしていけばよいか考える。
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをもち、主張や理由、根拠が明確になるように整理する。
	4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを広げる話し合い、まとめる話し合いをする。それぞれの考えの相違点、問題点、改善点等について図や表を活用しながら整理し、仮の結論をまとめる。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決まったことを実際に試し、改善点等を話し合う。
第3次	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合った結果や感想、工夫した点等をクラスで報告し合い、学習を振り返る。

7 本時の学習（4/6時間）

- (1) ねらい 互いの立場を明確にしながらか話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
 (2) 展開

時配	学習活動	・指導上の留意点 ◆評価（方法） ※「努力を要する」状況と判断する児童への手立て
5	1 学習課題、計画、自分のめあてを確認する。全体 考えを整理しながら話し合い、目的や条件に合う活動を決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いが目的や条件に応じたものになるように、全てのグループの話し合いの状況を捉え、目的や条件を確認したり、話し合う観点を助言したりする。 ・考えを比較するなど情報を関係付けながら話し合うことができるように、グループシートをクラウド上で常に確認し、情報と情報の関係の表し方や図示の仕方を助言する。また、他のグループの整理、分析の仕方を参照するよう促す。（視点2-②） ※発言が少ない場合や話し合いが停滞している場合は、指名しながら話し合うように司会者に促す。 ※音声による言葉のやり取りが少ない場合は、話し合う観点を設定し「AはBと比べて…」 「AよりもBの方が…」などの表現を意識的に用いるように促す。 ・自分たちの話し合いのよさ等を共有することができるように、互いの振り返りを読み合い、必要に応じてコメントを書き合うように促す。
30	2 進行計画書に従い、話し合う。グループ ○ 「考えを広げる話し合い」をし、互いの考えを理解する。 ・「数人で助けるバナナ鬼」がいいと思います。2年生も6年生もルールを知っているし、数人で協力して助けることで仲が深まるからです。 ・数人とは、同じ学年の人を助けてもよいということですか。 ・違う学年の人を助けて欲しいけど、ルールは少ない方がいいと思い、同じ学年の人でもよいルールを考えました。 ○ 「考えをまとめる話し合い」をし、仮の結論を出す。 ・どの考えも、ルールが分かりやすく2年生も困らずに楽しめると思います。 ・協力することができるように、2年生と6年生が混ぜ合わせる仕組みになるとよいと思います。 ・ボールゲームよりも鬼遊びにした方が、多くの人と関わり合えてより仲が深まると思います。	
8	3 学習を振り返り、共有する。個 ・共通点と異なる点を出し合って比べることで、条件に合う活動を決めることができた。 ・互いの考えを詳しく聞くことで、よいところを組み合わせた活動を考えることができた。	
2	4 次の学習計画を確認する。グループ	

◆思考・判断・表現②
 互いの立場を明確にしながらか話し合い考えを広げたりまとめたりしている。
 （発言、グループシート、振り返り）

8 板書計画

タブレットPCの画面を提示する ・個人用シート ・グループシート ・学習計画書	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議 題</p> <p>下学年との交流活動で何をするか 〈考えを広げる話し合い〉 ・互いの考えを理解する時間 （質問↓回答） 〈考えをまとめる話し合い〉 ・思考ツール ・共通点と異なる点 ・利点や問題点 ・優先順位</p> </div> <p>大事にすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎目的と条件に立ち返る ◎司会者が話し合いを進める。 ◎直接、言葉でやりとりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 考えを整理しながら話し合い、目的や条件に合う活動を決めよう </div>
--	--

電子ボード

黒板